

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくり
概要	<p>子どもの健やかな成長と安心して子育てができる体制の実現のため、子育て世代包括支援センターを設置し、健康診査や健康相談・訪問指導等、妊娠、出産から、育児期を通じた切れ目のない支援の充実を図ります。</p> <p>また、食育の推進や学童期・思春期における保健対策や小児医療費の助成等により、子育てしやすい環境整備を行います。</p> <p>さらに、コンパクトな町ならではの特徴を活かし、地域ぐるみで子育て支援体制を構築することで、すべての家庭が地域で安心して子育てできる環境整備を図ります。</p> <p>また、保育の質の向上と量の確保を図るとともに、子育てに関する講座の開催や相談を通じて、保護者がともに育ち育て合う環境づくりに取り組みます。</p>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 健康づくり支援の推進	1	A
(2) 母子保健の充実	3	C
(3) 教育・保育環境の充実	1	A
(4) 子育て中の親への支援の充実	4	B
(5) 子育てコミュニティづくりの推進	1	A
(6) 学童保育所の充実	1	A
課題 (箇条書き)	<p>・出生数は減少しているが、育児不安等の相談は増加傾向にあるので、相談窓口の紹介や関係各課、機関との調整が必要。</p>	

総合評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
	説明	<p>妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して、総合的な相談ができる体制の整備により、子育て支援体制のさらなる強化が必要である。</p> <p>また、妊娠前からアプローチし、正しい知識や早い段階でのライフプランの設計の重要性等を知ってもらうことを通じて、出生率そのものの上昇を図る必要がある。</p>
	方向性	<p>平成29年度より子育て世代包括支援センターを開設し、保健師等の専門職による妊娠、出産から育児期を通じた切れ目のない支援を目指す。</p>

◎最終評価者[庁内評価委員会]

<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
意見等	<p>生活の質の向上と定住人口の確保を実現するためには、子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。</p> <p>今後さらに推進するために、多様化する保育ニーズを反映しつつ、地域の実情に合った特色ある保育サービスの提供に努めるとともに、保育人材の確保を進め、短期的な問題解決だけでなく、中長期的な視点に立って、安心して子育てできる体制を構築していく。併せて、子どもは、次代を担う社会の一員であることから、家庭はもとより、地域、企業、行政等が連携・協力を深め、子育て支援体制の充実に努める。</p>